

# 令和8年4月から新たな計画 「中長期経営プラン2026」が始まります！

山武水道では、平成28年3月に水道事業の最上位の計画として「中長期経営プラン2016」を策定し、事業を進めてまいりましたが、令和7年度末をもって計画期間が終了となります。

このため、これまでの取り組みを継承しつつ、人口減少や施設の老朽化など、近年の水道事業を取り巻く課題に適切に対応するため、令和8年度から令和17年度までの10年間の計画期間とした新たな計画「中長期経営プラン2026」を策定いたしました。

※本プランの詳細につきましては、企業団ホームページからご確認いただけます。



## 基本理念 次世代を支える持続可能な水道

昭和49年の創設以来、山武郡市の皆さまの生活環境の向上と地域の社会経済活動を支える重要なライフラインとしての役割を担い、「安心」して飲める「安全」な水を、事故や災害に強い施設を通じて「安定」してお届けできるよう取り組んでまいりました。

こうした水道事業を次世代へ確実に引き継ぎ、地域の水道を未来へつなげていくため、基本理念を定めました。

### ～3つの計画目標（安全・強靱・持続）と主な取組～

#### 【安全】安全な水道水の確保

##### ◎水質管理の実施

水道法で定められている水質基準に基づき、定期的に水質検査を行い、その結果を公表します。皆さまが安心して水道をご利用いただけるよう努めます。

#### 【強靱】安定的な給水の確保

##### ◎配水場施設の計画的更新

水道の利用（水需要）が減少傾向にあることから、施設規模の見直しを検討するとともに、配水場の耐震化を計画的に進めます。皆さまに災害時でも安定して水道水をお届けできるよう努めます。

##### ◎管路施設の計画的更新

管路の耐震化を計画的に進めるとともに、老朽化した管路・漏水が多発している管路の更新を優先的に進めます。皆さまに日頃から安定して水道水をお届けできるよう努めます。

#### 【持続】持続可能な経営の確保

##### ◎将来需要の動向に即した水道料金制度の検討

引き続き、人口減少により料金収入の減少が見込まれている一方で、事業の運営に必要な費用は、受水費の改定や物価高騰等により増加することが見込まれています。また、水道管の更新費用も、物価高騰に伴い増加することが見込まれています。このため、更なる業務の効率化を実施するとともに水道料金の見直しを検討します。

※皆さまの生活に直結する重要な取組であることから次ページでより詳しくご説明させていただきます。